

CL-4-Ⅲ-09	<b>薬物治療演習</b>	第4学年	前期 必修	1単位
<b>担当者</b>	池田・亀井・芝崎・清水・白水・鳥越・武藤・湯本・米持（奈）			
<b>一般目標（GIO）</b>	適切な薬物治療に貢献できるようになるために、様々な疾患およびそれらの治療に用いられる代表的な医薬品に関する基本的知識を修得する。併せて、薬物治療の実施に必要な情報を自ら収集するための基本的技能を身につける。			
<b>到達目標（SBOs）</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>適切な治療薬の選択について、薬効薬理、薬物動態に基づいて判断できる。</li> <li>心臓と血管系疾患、血液・造血器疾患、消化器系疾患に関して、指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる。</li> <li>腎臓と尿路の疾患、生殖器疾患、呼吸器・胸部疾患、内分泌系の疾患、代謝性疾患、神経・筋疾患に関して、指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる。</li> <li>精神疾患、耳鼻咽喉の疾患、皮膚の疾患、眼疾患、感染症、アレルギー・免疫疾患、骨・関節疾患に関して、指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる。</li> </ol>			
<b>受講心得・準備学習等</b>	各疾患の病態や薬物治療に用いられる薬の薬理作用についてあらかじめ学習しておくこと。また、グループディスカッション形式で演習を行うため、医療人としての責任を自覚し、積極的に討論に参加すること。			
<b>事後学習・復習等</b>	演習において学んだ症例・疾患に関する病態および薬物治療について復習し、「疾患と薬物治療」の講義内容と関連づけて理解を深めること。			
<b>オフィスアワー</b>	演習終了後、1時間。他の時間帯も質問・相談可能。			

### 授業の形式と各回の内容

授業の形式		SGD形式で演習を行う。		
回	項目	内容	担当者	SBOコード
1	心臓と血管系疾患、血液・造血器疾患、消化器系疾患	左記項目に関する疾患例について、必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる。	亀井 池田 米持（奈） 芝崎 白水	C14-(2)-⑤-1
2				
3	腎臓と尿路の疾患、生殖器疾患、呼吸器・胸部疾患、内分泌系の疾患、代謝性疾患、神経・筋疾患	左記項目に関する疾患例について、必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる。	亀井 池田 米持（奈） 芝崎 湯本	C14-(3)-⑦-1
4				
5	精神疾患、耳鼻咽喉の疾患、皮膚の疾患、眼疾患、感染症、アレルギー・免疫疾患、骨・関節疾患	左記項目に関する疾患例について、必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる。	亀井 池田 米持（奈） 芝崎 鳥越 清水 武藤	C14-(4)-⑨-1
6				
7	処方解析	指定された処方せんから、患者の背景や疾患、治療薬を読み取り、その疾患や治療薬について詳細な情報を収集する。	亀井 池田 米持（奈） 芝崎 湯本	C14-(2)-①-2
8				

<b>成績評価の方法</b>	グループディスカッションにおける積極性や実習態度、確認テスト、実習レポートなどを総合的に判断して評価する。
<b>成績評価の基準</b>	各項目に対する確認テスト 40%（10%×4項目）、実習レポート 60%として評価する。
<b>教科書</b>	「薬物治療演習 2017」
<b>参考書など</b>	浦部晶夫・島田和幸・川合眞一編「今日の治療薬 2017」（南江堂）